

和光の緑と湧き水だより 会報 Verda 142号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 会報発行 2014年7月号 代表理事 高橋絹世 (462-9912)

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

26年	全体会	新倉ふれあいの森	白子・大坂ふれあいの森(地域の会と協力して)	樹林公園
7月	6月27日 坂下方面と地下鉄操車場内湧水調査会	19日 定期保全	6月30日 モニ1000調査 17日 定期保全	25日, 28日 ボランティア体験
8月	7日(予定) 白子川湧水流入調査会	23日 定期保全 ボランティア体験(里山保全)	7日(予定) モニ1000調査 21日 定期保全	

1. 井戸詳細調査 6月9日

環境課の協力で、2000年の環境調査の経験を生かした井戸の詳細調査を行いました。あらかじめ市内5か所の個人宅井戸について、環境課丸山さん、徳倉さんに案内していただき、井戸で聞き取り及び水位等調査を行う事が出来ました。前回の調査結果との比較として、湧水および地下水の変遷を知ることができます。古くからの農家で広い敷地内に掘り抜き井戸があり、農業用、および、庭の散水、自宅での生活用水として、よく利用されています。飲用としても可能と思われそうですが、現在はあまり飲用とはしていないようです。



2. 学校応援団・5年生の林間学校のための自然観察・体験学習(第四小学校) 6月16日

昨年から和光・緑と湧き水の会では第4小学校の学校応援団として活動しています。

5年生は夏休みに林間学校で、湯の丸高原と池の平で素晴らしい自然を体験しますが、その前に、現地に行ってお役立ち自然観察を、学校内で授業として行いました。自然観察に大切なこととして、「おどろきを見つけよう、不思議を探そう、そしてどうしてなのか考えよう」、ということをやテーマに、3クラス1時間づつ観察体験学習を行いました。ふだんの学校生活では気付かない「おどろき」を見つけ、感じる事が「自然観察」です。生徒たちは、校庭でびっくりするような自然をいくつも発見し、楽しかったようで、林間学校の準備にも力が入る様子です。集中して自然を観察し、発見した時の感動が私達にも伝わってきました。



2. 定例の白子湧水群や新倉ふれあいの森の保全、調査のあれこれ



6月は植物の成長が旺盛で、大坂や新倉ふれあいの森での保全が重要です。草刈り、樹木の剪定や間伐など皆さん大活躍です。毎月の湧水調査も継続、毎回の水量測定が欠かせません。

モニ1000調査に全国一斉川の調査、定例保全と井戸詳細調査、学校応援など雨の合間を利用し行いました。